

MU・KU

DIYリフォーム情報誌 vol.12
2020. Autumn



人と地球の健康を創るリフォーム

DIY型リノベは、建てる人の意志、住む人の意見で家づくりをすること。

無垢の木や自然素材でリフォームするには、住み手の意志(自己責任)で行うことによりクレームリスクもカットできコストダウンにもなる。

施工は専門家にお願いしても、自分でできる場所はDIYで行うこともよい。無垢の木を構造材や仕上げ材に使えば居住性が良く、長期にCO2を固定化でき温暖化対策にも貢献する、人と地球にやさしい住まいづくりができる。

DIY型リノベには、借家を住み手の想いでリフォームするDIY型賃貸借と持家を住み手の意志で行うDIY型リフォームがある。

特集 無垢材で棚をつくる

コロナ禍の副産物

デジタル時代の到来で時間の流れが速く感じられるので、次の情報はやや旧聞に属するかもしれないが、7月中旬、日経新聞電子版に“米国で木材価格が急騰、4月から2倍 コロナでDIY特需”というタイトルで、次のような記事が載った。

「米国で自宅改装などDIY需要が増え、木材価格が急騰している。指標となるシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)の先物価格は今年4月から約2倍に跳ね上がった。(中略)背景にあるのが新型コロナに関連した特需だ。外出制限を余儀なくされ、自宅で過ごす時間が長くなった。ペンキの塗り替えやキッチンなどの改装をする人が増え、木材需要も押し上げた。シカゴ郊外在住の女性は『在宅勤務で通勤時間が節約できるようになり、夫と居間の大改装を始めた』と話す。『DIYは苦手だ』という人は専門業者に依頼する。シカゴで住宅向け改装を請け負うビル・オハラさんは『知り合いの同業者はどこも大忙しだ』と話す。米国人の間にはコロナ禍で過ごす時間が長くなり、住宅環境を心地よくしたいとの思いがある。(中略)自宅はいざという時に売れる資産でもある。コロナ禍で将来が不透明になるなか、改装によって資産価値を引き上げる効果もある。(後略)」

欧米の中古住宅市場は日本と比較にならないくらい活発だから、資産価値を上げようと自ら努力する人が多い。日本もそろそろ新築信仰から抜け出す時ではないか。危機到来の今が逆にチャンスかもしれない。(今年の国内新築着工数は昨年比17%減との予測もある)

一方、過日、店頭で見かけた雑誌に次のような趣旨の記述があった。“ただ与えられる物を楽しみに待つことは他人の支配下にあること(奴隷)と同じ。自分で楽しみを見つけて生み出すことこそ自由を満喫することへの第一歩だ。今年の春から夏にかけては自分の時間をもっと持てることに気づいた人は多いのでは。DIYでじっくり自分仕様の部屋へ変身させてみたらどうか”。また、ホームセンター大手のカインズは、新テーマとして“自分らしさ、楽しさを自分で作るのが「ライフスタイルDIY」”を発表した。

コロナ禍で人々の意識に大きな変化が起き、様々な分野で思わぬ副産物が生みだされているが、DIYリフォームも大きなうねりになってきており、DIYリフォームアドバイザーの活躍シーンが増えそうである。

NPO法人住環境デザイン協会 理事長 山本 豊

Contents

02	【特集】	無垢材で棚をつくる
04	DIYリフォーム情報	自然系ワックス 左官のすすめ 2
05	DIY型事例紹介	井口 泰裕
06	ワークショップガイド	モザイクタイル 張り方Ⅱ
07	Close-up	建材のアウトレット市場 コラム「バウハウス」
08	Topics Information	

無垢材で 棚をつくる



・・・無垢の木を暮らしに・・・

DIY型リフォームにチャレンジの第一歩は、棚をつくることから始めるのも良いかもしれません。無垢板で棚をつくることで暮らしを便利にすると共に、無垢の魅力を知るきっかけとなることでしょう。ホームセンターなどで扱っている市販のパーツでつくると簡単で便利かもしれませんが、DIYは自らの感性により自分でつくることが魅力です。商品を組み合わせるコーディネートとは違います。国産材を使うことは、ほんの僅かでも地球温暖化対策に貢献できる喜びでもあることでしょう。

photo 上： コーナー演出の棚
杉厚板材の棚(25cm角)を
受け機で取付け

photo 下： 杉足場板を使ったカウンター

DIY型リフォームで棚づくり 5つのセオリー

item 1 無垢材でつくる

DIYにおける棚づくりは、扱いやすい集成材が主流を占めています。木の風合い、香りを楽しめる無垢材の棚は、住まいのクオリティを高める大切なアイテム。暮らしの質が変わります。無垢材を加工した無垢板材や端材のほか、スギ足場板や無垢フローリング材などを使っての棚づくりアイデア次第で、無垢の木のある暮らしを愉しむことができます。

棚づくりにおすすめの無垢材

- **無垢板材** (右ページ下 参照)
 - ・丸太を切って板状や角材に加工したもの
 - ・ダボ継ぎによる接合で、幅広の棚板にすることが可能
 - ・樹種、サイズとも豊富で、用途に合わせて選ぶ
(無垢材を扱うホームセンターやネット通販で購入でき、宅配やフリーカットも可能)
- **無垢フローリング材** (右ページ下 参照)

板の側面に実ほぎ加工されているため板同士をはぎ合わせることで、巾広の棚板にすることができる

 - ・単層フローリング材 — 一般的な厚み15mm
 - ・厚板フローリング材 — 厚み30mm、無垢板の素材感が増し、カウンター棚などに使いやすい



杉と檜の厚板フローリング材
杉(左)・檜(右)
- **足場板—厚さ35ミリの杉無垢板**

主に杉板が用いられ、丈夫でサイズが揃っているため強度や長さが必要な棚づくりにおすすめ(プレーナー加工すると厚み30mm程度)



杉足場板

足場板の規格サイズ
厚み:35mm 巾:200mm・240mm 長さ:2m・3m・4m
- **銘木の端材や古民家で使われていた古材**

木理が美しく希少価値がある材木を「銘木」と呼び、建築現場で出た端材を木材店などで扱っている。樹種によって風合いが異なる



檜 古材
- **2×4(ツバ イブ)部材・1×4(ワバ イブ)部材**

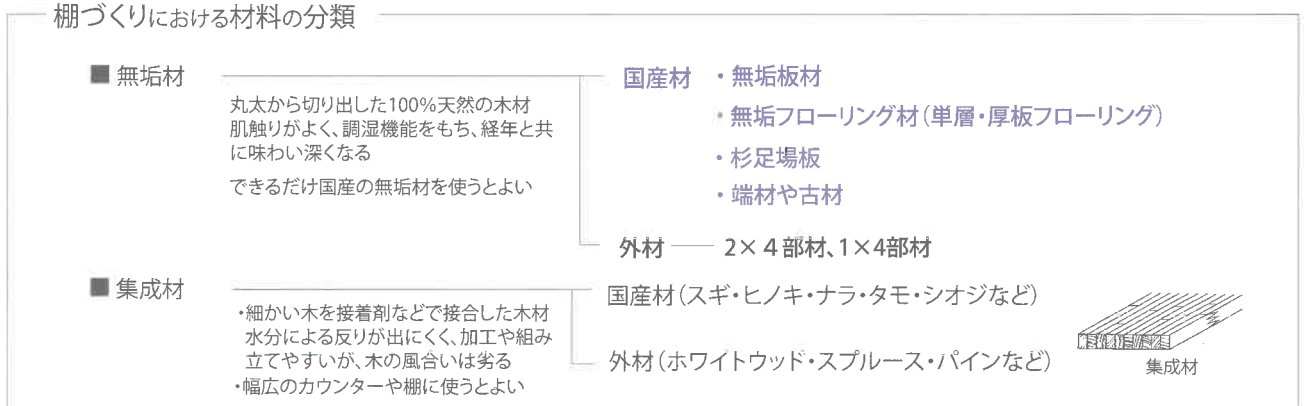
- ・2×4部材の断面サイズは、2×4インチ(38×89mm)ホワイトウッズの外材で、香りはないが軽く柔らかいため加工しやすい
 - ・奥行が38mmなので、狭いスペースの収納棚や壁面収納に使いやすい

【1×4部材の断面サイズは、1×4インチ(19×89mm)】



2×4部材

棚づくりにおける材料の分類



item 2 バランスを考える

美しい棚づくりのポイントは棚板の「厚さ」。仕上がりの要です。空間全体を把握し、用途に応じて板材、板厚を選びます。自らつくすることで、美意識が磨かれます。全体のバランスを考え、使ううちに気づくことも大切です。たとえ今回失敗しても、自分の作ったものと向き合うことでなぜ、どうして・・・と観る目を養うようになるのもDIY型リノベの醍醐味です。

□ デザインの三要素 美しい棚づくりの三要素



- ①色 (樹種ごとに異なる色味)
- ②形 (板厚)
- ③材質感 (材木の樹種により木目や触感が異なる)

□ リズムとバランス

人間の眼はバランスを見抜くのに長けている。バランスが崩れると、見ていて何となく落ちつかないなど違和感を感じる一方安定しすぎると、飽きてしまう。リズムとバランスの調整が大切

item 3 空間に合わせた寸法で棚づくり

隙間空間やデッドスペースなど暮らしのなかで生まれる小さなスペース。空間に合わせた寸法の無垢棚やカウンター、隙間家具をつくることでそこに新たな「間」が生まれます。DIYだからこそ、工夫次第でスペースの有効活用ができます。



杉板材で作った隙間家具

item 4 自然オイル拭き仕上げ

棚づくりの仕上げは、植物由来の自然オイル拭きがおすすめです。木材の内部に浸透することで棚板の表面に塗膜をつくらず、木のもつ魅力を引き出し、経年変化を楽しめます。

- ・無垢フローリング材を棚板に使用する場合は、できるだけ無塗装のものを選ぶ
- ・天然オイル塗料 (MU・KU VOL.11 P4参照) や、蜜蝋ワックスがおすすめ (今号P4)
- ・有害物質を含まないので安全

item 5 取付方法の工夫

棚板の取り付け方は、壁付け、棚受け、吊るなどいろいろな方法があります。壁下地や棚板の重さを考えて固定方法を決めます。

□ 棚受けで取付

1. 板材で棚に合わせた寸法の受け枠を用意する
2. 壁下地を探して受け枠を取り付け、その上に棚板を載せ、木ビスで留める



杉厚板カウンター

□ 斜材で取付

斜材を用意し、下地があるところに棚板と斜材をビス留め



吊りタイプ



受けタイプ

□ 棚板金物で取付

ステンレスやアンティーク金物など用途に合う取付金物で固定する。クラフトショップやホームセンターで求めるとよい



金物タイプ

□ ボックスをつくって取付

1. 無垢板材でボックスをつくる
2. 木ビスで下地に直接取り付ける

杉板材《写真右》
89mm (幅) × 9mm (厚) × 2m (長さ)



杉板材一枚で作った調味料を置く棚

棚板取付けに使う道具

- ・ドライバー (インパクト可)
- ・木ビス (細軸コースレッド)
- ・木工ボンド
- ・下地探し又は下地センサー

壁下地材の見つけ方

- ・電気式の下地探知機「下地センサー」
- ・針を刺して下地を探す「針式下地探知器」

戸建て住宅 (木造) の下地は木下地に対して、中高層マンション (RC造) の下地は金属が多い。その場合、磁石タイプの下地センサーを選ぶとよい

板材をつなげて、棚板にする方法

無垢板材で棚板をつくる

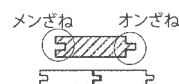
ダボ継ぎで板材を接合



- ①板材 (数枚) を空間に合わせた寸法にカットする
- ②板材側面に電動ドリルでダボ穴をあける
- ③ダボ穴に木工ボンドを入れる (穴の半分くらい)
- ④穴に木ダボを入れ金槌で押し込む
- ⑤板材の接着面にも木工ボンドをぬる
- ⑥板材 (穴あき) を上から合わせ当て木をして槌で叩く

フローリング材で棚板をつくる

実はぎ (凹凸) を合わせて接合



フローリング材で作った電子レンジの上を活用する棚

- ①フローリング材 (数枚) を空間に合わせた寸法にカットする
- ②フローリング材側面の凹凸部分に木工ボンドを付ける
- ③フローリング材同士をはぎ合わせ、幅広にする
- ④クランプやハタガネでフローリング材を固定する

無垢材に使う 自然系ワックス

ワックスといえば、一般的にキズや汚れを防ぐ目的で、複合フローリングなどの定期的なお手入れに使われますが、無垢材に使用する自然系ワックスは、木を保護し、無塗装に近いナチュラルな仕上げに使用します。

天然成分由来の自然系ワックスは、無垢材の仕上げによく使われる自然オイル(自然塗料)のようなしっとり感はできませんが、白木の自然の色を活かしつつ、手あかや水あか、ささくれ、割れなどを防ぐ効果があります。

蜜蝋ワックス

- 京の自然蜜蝋ワックス(夢ファクトリー京都)
ミツバチの巣を溶かし不純物を取り除いた蜜ロウと、植物油のみでつくられた天然ワックス
軟膏の硬さ(固形)で、塗りムラが出にくく、木に染み込ませることで自然のツヤがでる
- いろは蜜蝋ワックス(アールジェイ)
蜜蝋を主成分として桐油や亜麻仁油という天然の植物油をブレンドしたワックス
白木や木製品の自然の色を活かし、手触りもなめらかに仕上がる



京の自然蜜蝋ワックス



いろは蜜蝋ワックス

オイルワックス(水性)

- ジャパンオイルワックス(アウロ社)
天然成分だけで構成されたワックス
未処理の無垢材を保護し、木材そのものの色が変わらないのが特徴。扱いやすい水性のためDIYに人気。



AURO Nr.690

しらすき 和室の素木 お手入れ

和室における柱や、鴨居・長押などの造作材は、杉や檜、松などの針葉樹が使われ、素木のまま(無塗装)使うのが伝統です。香りや肌触り、調湿効果など木の持つ価値を失うことなく活かされます。

素木のお手入れは、日ごろから綿や麻布でのから拭きを心掛けるとよいでしょう。

自然系ワックスの代用として、米ぬかを綿の袋に入れて磨き、素木が黒ずんできた時は、米のとぎ汁や酢水につけた布雑巾を固く絞って拭き上げます。

手が触れる木部に自然系ワックスを塗る場合がありますが、これは手あかがつくのを防ぐ目的です。

左官 の すすめ

第2回 左官職人が行うDIY型リノベ

「左官材料の選び方」 - 漆喰や土、珪藻土の選択の仕方 - 金澤 萌

左官の仕上げ材料には、昔ながらの土や漆喰、珪藻土、樹脂系、DIY向けに開発されたものなど、様々な種類の材料があります。左官材料を検討するとき、「なぜ左官仕上げにするのか」を考えたいうえで、目的に合った材料を選ぶことが大切です。



本漆喰の素材(銀杏草、石灰、すさ)



本漆喰練り
(混ぜ合わせた状態)



わら
(土壁に入れるもの)



真砂土
(粒のサイズを揃える)

例えば、自然素材の空間に仕上げるのが目的の場合は、土や漆喰を選びます。洗面室などカビが発生しやすい部屋は、強アルカリ性である漆喰をお勧めします。調湿効果をうたう材料としては珪藻土が有名です。しかし、珪藻土の施工は窓のある換気ができる部屋にお勧めします。換気のできない部屋や家具で覆ってしまう壁面に珪藻土を施工すると、吸湿した水分の放出が難しくカビが生えやすい壁になってしまいます。

左官の鏝模様仕上げが目的の場合は、樹脂材料やDIY向けの材料も候補になります。自然素材の材料の場合は下塗りなど重要な作業工程が増えます。しかし、DIY向けに開発された材料には下塗り工程が省けるものもあります。これらの材料はまっ平な仕上げはできませんが、鏝で模様を付けてラフな左官仕上げの質感を出すことができます。

左官仕上げにする目的を考えて材料を選ぶことで、より理想の空間にすることができます。
※次回は、「DIY左官の進め方」です



珪藻土
(塗りっぱなし模様)



漆喰
(塗りっぱなし模様)

甦る古民家

～古民家のもつ価値をDIYで活かす～



小屋裏に隠れていた松丸大梁 土間空間の廃タイル張り 囲炉裏で燻された火棚に照明

島根県中部、緑豊かな中国山地の山あいには130年の時を経て、自然素材で再生された古民家「小徳庵」。昨年春より一年半かけて、自らの手で修復された井口泰裕さん。自然のものを素材として取り入れ、古きものを生かすことを大切にDIY型リノベーションされた事例をご紹介します。

一 古民家の特徴を活かす

軒が深く、風雪に耐えてきた古民家。かつて、その地域で伐採された木材を適材適所に使い、大工や棟梁の手で家は造られてきました。柱や梁などの構造材は、断面が大きい木材が用いられ、柱と太い大梁、大黒柱が織りなす木組みの美しさは、古民家の特徴です。

ここ小徳庵は改修前、松丸大梁が土間の小屋裏に隠れていましたが、天井を吹き抜けにすることで大梁が土間空間に現れます。防虫効果を施すためバーナーで焼き、天然オイルで拭き仕上げする作業は大変だったそうです。火の力と人の手により甦る大梁、古材の魅力は尽きません。

構造材としての梁が意匠として、「用」と「美」を兼ね備えた木の役割は、空間に重厚感をもたらします。必要最小限の修繕と補強を念頭に、古民家と向き合い、込められた想いが随所に感じられます。

三 DIY型リノベを愉しむ

「つくって楽しい、できて嬉しい、使って楽しい」とおっしゃる井口さん。自分のペースでつくることのできるのもDIYの魅力だそうです。

いつもは、仕事から建物のプランや監理業務に携わり、施工は専門の職人さんに依頼するのですが、古民家の購入を機に自ら挑戦。配線設備と建具の可動調整以外はすべておひとりで行ったとのこと。

つくることで、いろいろなものを見たり、聞いたり、探したり、それも大きな楽しみの一つだそうです。里山の暮らしから、自然を感じる心や観る目を育てていってほしいです。

この度、敷地内西側にご自身で東屋を造られました。百三十年前と変わらない川や田の景色を眺めながら、次なる発想を広げられることでしょう。

二 素材を生かす・組み合わせる

敷地内の丸い石畳みに導かれ、小徳庵に足を踏み入れると、自然素材に囲まれたやさしい空間が広がります。木の香り、風鈴の音色、心地よい風、美しい木目、素材の風合い―五感が呼び覚まされます。

井口さんのDIY型リノベは、山のもの、川のもの、海のもの、田のもの…自然のものを素材として使い、既存の古材と調和させます。河原の石や廃材のタイルを配した三和土の土間。樺や黒柿の端材で棚づくり。浜田の海岸で集めた流木で縦格子棧を、魚を入れるト口箱を壁材に。はで干しで使う稲掛け足で寝椅子を、杉足場板を削ってテーブルに。

自然素材を取り入れ、組み合わせることで古材を生かす…：邑南の自然を取り込んだ古民家再生です。

四 これからの活用

伝統的な田の字のシンプルな間取り、廻り廊下古民家のもつ開放的な空間。

趣味で描かれている水彩画のアトリエとしてだけではなく、ゲストハウスや民泊そして「コミュニケーションの場」として、古民家ならではの「場の力」を活かした今後の活用を思案されています。

井口さんの手で甦った古民家。名付けて「小徳庵」に、心地よい…どこか懐かしいゆっくりとした時間が流れます。DIY型リフォームアドバイザーとしてのご活躍がとて楽しみます。



改修前外観



改修後外観(中)・エントランス(下)

プロフィール

井口 泰裕 (DIY型リフォームアドバイザー)

(有)井口建設 瑞穂支店
常務取締役
島根県邑智郡邑南町高見325-1
TEL(0855)-84-0101
MAIL inokutiy@shimanet.jp



ト口箱や杉足場板の壁材



流木でつくった格子棧



端材と流木の棚

DIY型リフォーム ワークショップ

無垢と自然素材で創るDIY型リフォーム Work shop 事例紹介

DIY型リフォームの基礎知識と施工技術を身につけるワークショップ。
モザイクタイルはサイズが小さいので、DIYで扱いやすいタイルです。多くの材質やデザインがありますので、ぜひチャレンジしてみてください。今回のワークショップも、体験型のショールーム・モザイク工房（名古屋モザイク工業 広島）にて開催しました。



モザイクタイルの張り方 PART2

壁面にタイルを張る



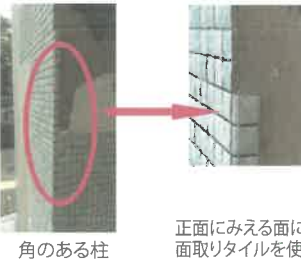
壁面にモザイクタイルを張るには、接着剤の塗り方がポイントになります。
こてを使いますが、波打ったり、デコボコしていると、タイルがはがれやすくなります。また、厚く塗り過ぎると、タイルの重みでずれてしまいます。
外壁の場合は、タイルが剥がれ落ちてしまうと、人や物に危害を与えることもあるので、強力接着剤を使用します。

前回のワークショップ
「基本的なタイルの張り方」

- ①モザイクタイルには「表紙張り」と「裏ネット張り」がある
- ②張りたい場所に仮置きしてサイズを調整
- ③接着剤をつけて、タイルを置く
- ④しっかり乾かした後、目地材を隙間なく塗っていく
- ⑤乾いた後に目地の残りを拭き取る

※詳しくはMUKU vol.10をご覧ください

コーナーにタイルを張る



正面にみえる面に面取りタイルを使用



内装用タイル用ボンド 外壁用弾性接着剤

タイルを張る壁面は平らな面だけではありません。
出隅コーナーには面取りタイルを使うことできれいに仕上がります。



片面取りタイル

片面取りと両面取り

タイル張り面の端部や出隅コーナーをよりきれいにみせるため、側面の角をとりタイルの端を丸くしているもので、1辺だけ面取りされた「片面取り」と、2辺が面取りされた「両面取り」の2種類があります。

上手に組み合わせてモザイクタイルをDIYに取り入れてください。

モザイク工房 名古屋モザイク工業 広島ショールーム内
広島市中区国泰寺町1-8-20 TEL082-247-4010

これからの Work shop

広島

DIY型リフォーム事例研修



- ① 9/29(火) 9:30~12:00
- ② 10/24(土) 13:30~16:00
- ③ 11/11(水) 9:30~12:00

三和土(たたき)



11/7(土) 13:30~17:00

参加費：3000円(材料費込み)

木材加工と応用(木箱づくり)



- ① 10/14(水) 13:00~16:00
- ② 11/21(土) 13:30~16:00

床の再生



12/5(土) 9:30~17:00

定員：各8名(先着順)

大阪

DIYマイスターの北林敦子さんが指導する
木材加工と応用(小さな木箱づくり)

- ① 10/19(月) 13:30~16:00
- ② 11/18(水) 13:30~16:00
- ③ 12/ 4(金) 13:30~16:00

場 所：和歌山市十番丁15 市川ビル4F
レンタルスペース Box*0

参加費：3000円(材料費込み)
定 員：6名(先着順)

お申込みフォームはこちらから



my life*Box DIYスペース

Close-up

使えるものを欲しい人に提供する

「建材のアウトレット市場」プラットフォーム

DIYリフォームアドバイザー資格認定講座の講師でもある福島美邦子さんを中心としたグループが建材版アウトレット市場のプラットフォームをオープンする予定です。



福島 美邦子さん
プランニングオフィスRoom375 代表取締役
DIYリフォームアドバイザー認定講師

“もったいない!”

捨てるしかない住宅建材を有効活用したい

「リフォームは既存住宅を活かすエコなビジネスですが、施工時にどうしても余ってしまうタイルや壁紙、フローリングなど、これまではお金を払って産業廃棄物として捨てていました。捨てるくらいなら、欲しい消費者やDIYの皆さん、不動産オーナーなどがいるはずなのに・・・もったいない!なんとかできないか・・・という気持ちです」(福島さん) それが生産処理行きになっていた、使える建材を、使いたい人に回す「建材のアウトレット市場」プラットフォームを立ち上げるきっかけになりました。

余った建築材料は廃棄される

タイル・壁紙はロス率も見込んで常に1.2~1.4倍程度、多めに発注しています。タイルなどは梱包で割れている場合もありますし、足らなくなると困るので、余裕をみて多めに発注することがほとんどです。

フローリング材を1束単位で購入しても、中には反りがひどかったり、色が違っている板が1枚だけ混ざっていた、という経験はありませんか。

別の現場で使う場合もありますが、それでも行き場がない場合は、仕方なく産廃料金を払って処分するしかないのです。

リフォーム・DIYへの注目

コロナ禍で「住まい」への関心が高まり、テレビ番組ではDIYに関するものを多く取り上げられています。DIYの品揃えは豊富になりましたが、「どこに相談したらいいのかわからない」という悩みはなかなか解消されていません。

アウトレット市場が、エンドユーザーにとって建材を安く入手できるだけでなく、職人とつながり、必要な情報やアドバイスが得られる場所になれば、産廃を減らして環境負荷を低減し、持続可能な社会づくりにお互いが貢献できるはず。

この取り組みにぜひ期待しましょう。

受け取りに来た買い手と職人との会話

素人が手に負えない施工をプロに依頼

職人・工務店



各現場で余った建材を出品

一般・DIYしたい人



倉庫に出向き、自ら購入

お問い合わせ/プランニングオフィスRoom375 <https://room375.com/> info@room375.com

Column

コラム シリーズ 2

バウハウス

金堀一郎

フルーツボール
ヨゼフ・アルバーズ (1924)



バウハウ斯拉ンプ
ヴァイルヘルム (1924)



ドイツに1919年バウハウス (BAUHAUS) が誕生して、100年となりました。

バウハウスが注目されているのは、世界で最初のデザイン学校であったからです。イギリスで興った産業革命の後、アーツ&クラフツ運動そしてアール・ヌーボー (1890~1910) と、ヨーロッパ全域に美意識が高まったのちに、ドイツに国立のバウハウスという芸術と技術の融合を目指したデザイン学校が、ヴァルター・グロピウス (1883~1969) を校長としてワイマールに設立されました。

1925年にデッサウに移転後、1930年にミース・ファン・デル・ローエが校長に就任しますが、1933年にナチスの厳しい弾圧により閉校となっています。設立から15年目に閉校という短い期間の学校でしたが、今日ではその名は世界に知られるようになり、普通名詞にまでなっています。

なぜ、バウハウスが世界に知られるようになったのか。それは、美術や芸術の学校は古くからありましたが、バウハウスは世界で最初のデザイン学校であったからです。

当時、デザインという概念はなく、バウハウスが目指した「芸術と技術の融合」これがデザインの概念と考えるのが妥当と思います。美を現象形態から見ると自然美と芸術美に大別され、ドイツバウハウス設立以降に機械美 (デザインされた機能美) が加えられています。その時代背景には産業革命の経済効率主義から美しくない商品が溢れ、その弊害からヨーロッパで美意識が高まりますが、アートでは経済を活性化できなかったのです。

ドイツバウハウス閉校後は、1937年にシカゴにニューバウハウスが開校し、現在はイリノイ工科大学の一学部になり存続しているようです。我が国ではバウハウスの思想に共鳴した桑沢洋子 (1910~1977) が1954年に桑沢デザイン研究所、1966年に東京造形大学を設立しています。中国地方にはデザイン教育の大学がなかったため、産業の活性化を鑑みて1994年4月に広島市立大学が開学し、中国地方初の芸術学部デザイン学科が生まれています。デザインの概念、これからの進化が楽しみです。

Topics

広島会場にて 開催 DIYリフォームアドバイザー資格認定講座

広島会場において、第7回目となるDIYリフォームアドバイザー入門・資格認定講座を、9月5日・9日に開催しました。
コロナウイルス感染拡大防止のためステイホームや新しい生活様式が浸透しています。
こういった状況のなか、「自分でリフォームする」とこと「業者に任せる」とこの区別をするアドバイザーが今後求められています。

今回は建築士の方も多く受講されました。現在の仕事にぜひ活かしていただきたいです。



DIYリフォームアドバイザー 在宅講座

ご自宅において、会場LIVE講座と同じ内容・受講料でDIYリフォームの知識を学ぶことができます。
ぜひ、お知り合いの方にご紹介ください。

DIYリフォームアドバイザーの在宅講座は2種類があります。

- ① DVDにて受講できるコース
- ② web上で受講できるコース

※PCまたはスマートフォンなど



DVD受講



Web受講

DIYリフォーム入門講座
¥19,800

DIYリフォーム資格認定講座
¥37,800

【受講メリット】

- ①自分のライフスタイルに合わせて学習できる
- ②DVDとテキストにより、DIY型リフォームの知識を繰り返し立体的に学習できる
- ③全体を俯瞰しながら部分を学習できる

MU・KU バックナンバーを販売しています

DIYリフォーム情報誌MU・KUのバックナンバーをDIYリフォーム.comのHPから取り寄せることができるようになりました。DIYリフォームに関わる特集をはじめ、おすすめエコ建材、ワークショップ情報などを掲載。年度途中から購読の方にお勧めします！

<特集内容>

- vol.1 DIYリフォームアドバイザー資格認定制度
- vol.2 住まいと食でつくる暮らしの健康
- vol.3 木と手道具
- vol.4 DIYリノベで民泊
- vol.5 田舎リノベ～空き家の活用～
- vol.6 古民家再生
- vol.7 一材料の選び方① 床のDIYリノベ
- vol.8 DIYマイスター資格制度
- vol.9 一材料の選び方② 呼吸する壁材
- vol.10 DIYで生まれる空間
- vol.11 コロナ危機と「DIY志向」



※まとめて4冊1500円(送料込み)で、もれなくファイルに綴じてお送りします。

<お申込み> DIYリフォーム.com <https://www.diyreform.net/>

DIYリノベ事例#2 cafe&DIY ショップ

《DIYリフォームアドバイザー 平見久美子さん》

6月に事務所をDIYリフォームして、cafe & DIYのショップをオープンしました！これからも床・壁・天井を定期的にDIYでイメージチェンジしていきます。



- Point 窓ガラスに木枠をはめてペンテージサッシ風 (写真左)
- 空間にジャストサイズのレジ兼カウンター (写真右)

資格者の皆さんが実際にDIYでつくられた実例を募集しています。ご協力して頂ける方は下記のメールアドレスにご連絡ください。皆様のDIYリノベの実例をお待ちしております。

送り先 住環境教育協会 info@juu-kyoiku.com

Information



表紙画像 薪の棚

無垢家具を扱うショップの一角にあった屋上緑をした薪の棚。
薪を積んだ景色はLOHASを連想させ安らぎを感じさせる。

DIYリフォーム情報誌「MU・KU」では、DIYリフォームに関する情報をお待ちしております。

問い合わせ・送り先
info@juu-kyoiku.com

MU・KU
DIYリフォーム情報誌 Vol. 12
2020. Autumn
2020年10月1日発行(年4回発行)
発行人 若菜 幸子
編集 吉田 恵子

<発行> 一般社団法人 住環境教育協会
広島市中区大手町2-5-11
NPO法人住環境デザイン協会内 〒730-0051
TEL 082-241-5707 e-mail info@juu-kyoiku.com
FAX 082-241-5645 URL www.juu-kyoiku.com

定価 300円(税別)